

## 「第2回医療事故・紛争対応人材養成講座」

(2007年7月14日～10月8日, 於: 神戸市)



1. 開催日時： 2007年7月14日～10月8日
2. 開催場所： 神戸市
3. 講師陣（講義開催順）：

前田正一（東京大学）  
原田賢治（東京大学医学部附属病院）  
嶋崎明美（姫路医療センター）  
江原一雅（神戸大学医学部附属病院）  
池田典昭（九州大学）  
児玉聡（東京大学）  
甲斐由紀子（宮崎大学）  
前村聡（日本経済新聞社）  
石川雅彦（国立保健医療科学院）  
日下隼人（武蔵野赤十字病院）  
富永理子（呉医療センター）  
丸山英二（神戸大学）  
厚生労働省

4. 参加人数： 約40名

以上

平成19年度 医療事故・紛争対応人材養成講座(40時間コース) 時間割							
	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	13:10～14:10	14:10～15:10	15:10～16:10	16:10～17:10
第1回	リスクマネジメント総論			医療安全活動および医療安全教育			
	イントロダクション	安全管理制度・院内の安全管理体制	医療事故の法律問題および事故対応	院内での医療安全教育の手法	東大病院における教育の実際	医療安全と診療記録	診療記録の記載方式と教育
	(7/14) 前田正一(東京大学)			原田賢治(東京大学)		嶋崎明美(姫路医療センター)	
第2回	医療事故への初期対応(1)						
	安全管理体制の構築	現場の保存・院内検証とその方法	異状死の警察への届出	死因究明と剖検の意義	死亡診断書・死体検案書の意義	医療関連死とモデル事業	モデル事業の実際
	(7/15) 江原一雅(神戸大学)		前田正一(東京大学)	池田典昭(九州大学)			
第3回	医療事故への初期対応(2)						
	患者・家族への情報開示(理論)	記者会見:その意義と方法	ポジションペーパーの意義と作成	記者会見実習	記者会見実習	医療事故の社会への公表	
	(7/16) 児玉聡(東京大学)	江原一雅(神戸大学)、甲斐由紀子(宮崎大学)、前田正一(東京大学)				前村聡(日本経済新聞社)	
第4回	院内外における医療事故調査(医療事故の事例分析・評価・防止対策)						
	医療事故の諸機関への届け出と事故調査終了後の対応	エラー分析総論	根本原因分析(RCA)と方法	RCA(根本原因分析)と方法	RCAの実習	RCAの実習	RCAの実習
	(10/6) 江原一雅(神戸大学)	石川雅彦(国立保健医療科学院)					
第5回	コミュニケーション						
	インフォームド・コンセントの法原則	インフォームド・コンセント(SGD)	インフォームド・コンセント(SGD)	患者の訴えを聴く	コミュニケーション技法	コミュニケーション実習	患者対応の実際(医療従事者対応を含む)
	(10/7) 前田正一(東京大学)			日下隼人(武蔵野赤十字病院)			富永理子(呉医療センター)
第6回	医療事故と法律				医療政策	まとめ	
	医療事故と法律・総論	過失の判断(注意義務の基準)	医療事故と診療情報の開示	診療情報開示と個人情報保護	医療安全政策の過去・現在・未来	質疑応答・ディスカッション	
	(10/8) 丸山英二(神戸大学)				厚生労働省	前田正一(東京大学)	

注)SGD(スモール・グループ・ディスカッション):少人数のグループで事例をもとに対応を検討します。その後講師が解説を加えます。